

国際共同研究事業
欧州との社会科学分野における国際共同研究プログラム
(Open Research Area for the Social Sciences)
平成 29 年度実施報告書

平成 30 年 4 月 10 日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

所属機関・部 局 大阪大学・大学院人間科学研究科

職・氏名 (ふりがな) 准教授・森田敦郎
もりたあつろう

1. 事業名 国際共同研究事業欧州との社会科学分野における国際共同研究プログラム
2. 研究課題名 (和文) デルタにおける不確実性への対処：デルタ管理における実践と知識の多様性
(英文) Deltas' dealings with uncertainty: Multiple practices and knowledges of delta governance
3. 共同研究実施期間 (全採用期間)
平成 28 年 1 月 1 日 ~ 平成 30 年 12 月 31 日 (3 年 0 ヶ月)
4. 研究参加者
(1) 日本側参加者 8 名 (2) 欧州側研究者 (代表者・各国代表者) 3 名
5. 主要な物品購入状況 (一品又は一組若しくは一式の価格が 50 万円以上のもの)

物品名	仕様 型・性能等	数量	単価(円)	金額(円)	設置研究機関名

備考：50 万円以上の物品を購入等した場合のみ記入してください。

6. 人件費使用状況

氏名	金額	雇用期間	専門及び本研究における役割
Casper B. Jensen	8,336,813	平成29年4月1日～平成30年3月31日	科学技術論・理論研究とメコンデルタ等での調査
古川 不可知	235,551	平成29年11月1日～平成30年1月31日	人類学・研究代表者の補佐
Liv Nyland Krause	139,197	平成30年1月1日～平成30年1月31日	人類学・デンマークの水文モデルの調査補佐

備考：研究者及び専門技術員・研究補助者を雇用した場合のみ記入してください。

雇用期間の欄の記入例：「平成27年2月1日～平成29年3月31日」

7. 渡航実施状況

(a) 日本側参加者（代表者を含む）の国内出張

出張者 (氏名)	出発地 (都市名)	用務先 (都市名)	旅行期間*	用 務 (用務先・用務内容)	経費負担**
計 名 (延べ人数)			計 日		

* 旅行期間の欄の記入例：「6月10～19日、10日間」（現地到着日～現地出発日）

** 本経費使用予定の有無を記入すること

(b) 当該年度に欧州側相手国を訪問した日本側参加者

出張者 (氏名)	出発地	用務先 (国名・都 市名)	旅行期間*	用 務 (用務先・用務内容)	経費負担**
森田敦郎	日本・大阪	オランダ・アム テルダム、	8月18日～9月8 日、9月14～23 日、32日間	アムステルダム大学ほか・オラ ンダにおける水管理技術 の調査、オランダ・イギリ ス研究チームとの打ち合 わせ	有
計 1 名 (延べ人数)			計 32 日		

* 旅行期間の欄の記入例：「6月10～19日、10日間」（現地到着日～現地出発日）

** 本経費使用予定の有無を記入すること

(c) 当該年度に欧州側相手国以外の国を訪問した日本側参加者*

出張者 (氏名)	出発地	用務先 (国名・都 市名)	旅行期間**	用 務 (用務先・用務内容)	経費負担***
Casper B. Jensen	日本・大阪	カンボジア・プ ンベン、中国・上 海、デンマーク・ コペンハーゲン、 オーフス・オーデ ンセ	5月14日～10月 16日(内6月16 日～18日上海、9 月13日～23日デ ンマーク、そのほ かプノンペン) 合計156日間	プノンペン：国連開発事務所他・メコン デルタ北部における水管理の状況につい てのフィールド調査 上海：復旦大学にて研究成果の発表 デンマーク、コペンハーゲン IT 大学、オ ーフス大学、南デンマーク大学で研究成 果の発表	無
Casper B. Jensen	日本・大阪	カンボジア・プ ンベン	12月19日～3月 1日、73日間	国連開発事務所他・メコンデルタ北部に おける水管理の状況についてのフィール ド調査	有
森田敦郎	日本・大阪	中国、上海	6月16日～18日、 3日間	上海：復旦大学にて研究成果の発表	無
森田敦郎	オランダ、アム ステルダム	ポルトガル、シン トラ	9月8日～14日、 7日間	国際シンポジウムにおける招待参加(本 プロジェクトについての発表と討論)	無
計 4 名 (延べ人数)			計 239 日		

* 外国出張の渡航先は原則として、欧州側相手国のみを渡航先とします。ただし、当該共同研究の研究成果発表を目的とする学会等への出席や、フィールドワーク等で当該第三国へ行くことが必須である研究上の理由がある場合に限り、欧州側相手国以外の国を訪問することは可能です。

** 旅行期間の欄の記入例：「6月10～19日、10日間」(現地到着日～現地出発日)

*** 本経費使用予定の有無を記入すること

(d) 当該年度に受入れた欧州側相手国研究者

出張者 (国名・氏名)	用務先	旅行期間*	用 務
計 名 (延べ人数)		計 日	

* 旅行期間の欄の記入例：「6月10～19日、10日間」(来日日～離日日)

8. 研究実施状況

※ 申請書の内容及び当該年度実施計画書の「6. 本年度実施計画の概要」と対応させつつ、当該年度の研究の実施状況を簡潔に日本語にて記入してください。

本年度、Jensen は、カンボジア、メコンデルタ上部およびプノンペンでの調査を継続した。この地域では、開発による環境の変化を明らかにするため、おびただしい数の研究が近年行われてきた。これらの研究の多くはモデルを用いており、そこでは主に水文モデルを中心に多様なモデルが結合されている。Jensen は、このようなモデル研究の隆盛とそこで用いられる多様なモデルに注目し、それらがいかんして急激に増加したのか、それらが政策といかなる関係を持つのかを検討した。ここでは、モデルによる研究がさらなるモデルによる研究の需要を引き起こし、連鎖的に研究が急増したこと、こうした研究の急増と政策への科学的知見の導入の間にはギャップがあり、研究の成果の多くは必ずしも政策に反映されていないことを明らかにした。Jensen は研究の知見の政策への反映を妨げる、社会的・組織的な諸要因のいくつかを検討し、それらのダイナミズムを明らかにすることの重要性を指摘している。

これに加えて、Jensen は、気候変動についての科学的知見と政策、一般社会の関与を媒介するものとして、文化的な想像力の役割にも注目し、特に SF と文学に焦点を当てた理論的な考察も行った。これらの成果は上海、復旦大学およびデンマーク、コペンハーゲン IT 大学、オーフス大学、南デンマーク大学における招待講演にて発表された。

一方、森田は日本において、水文学のグローバルな展開についての調査研究を行うとともに 9 月にオランダ、アムステルダム大学に滞在して、オランダにおける水文科学の状況についての調査を行った。ここでは、デルタの環境に関する今日の関心の背後には、地球圏-生物圏国際共同研究計画 (IGBP) による研究の大きな影響があることが明らかになった。IGBP は、リモートセンシングに基づく全球規模の研究を推進しており、それらはこれまでに捉えられなかった様々な環境変動を明らかにしてきた。その一つが、世界中のデルタで進行する急速な地盤沈下である。この地盤沈下は、ダムや堤防による洪水制御によって土砂がデルタに供給されなくなったことによって生じており、治水システムの大幅でほぼ非現実的な全面撤去か改訂によらなければ根本的な解決は困難である。森田は、この知見の社会・政治的な含意を検討するとともに、その背景を探った。そこでは特に、モデル技術、リモートセンシングなどを媒介として、複数の研究分野をまたがるモデルや概念の移動が頻繁に起こっていること、これによって新たなタイプの科学・政策的な知識が生まれていること、それが現在、環境政策の基本的な視座に大きな変化をもたらしつつあることが明らかになった。森田は、この変化を特に「レジリアンス」概念に注目して検討し、その成果はポルトガルで開催された Wenner-Gren 財団主催のシンポジウムにて招待講演として発表された。

この他に、本年度には昨年度までに執筆し査読中だった論文のいくつかが出版された。

9. 研究発表（平成29年度の研究成果）

【雑誌論文】 計（8）件 うち査読付論文 計（6）件

通番	共著の有無*	著者名	論文標題			
		Morita, Atsuro	From Gravitational Machine to Universal Habitat: The Drainage Basin and Amphibious Futures in the Chao Phraya Delta, Thailand.			
①		雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
		Engaging Science, Technology and Society	有	3	2017	259-275
②		著者名	論文標題			
		Jensen, Casper Bruun	地球を考える：『人新世』における新しい学問分野の連携に向けて（藤田周（訳））			
		雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
		現代思想（12月号特集＝人新世）	無	45(22)	2017	1036-401
③		著者名	論文標題			
		Jensen, Casper Bruun	Mekong Scales: Domains, Test Sites and the Uncommons			
		雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
		Anthropologica	有	59(2)	2017	204-215
④		著者名	論文標題			
		Jensen, Casper Bruun	Amphibious Worlds: Environments, Infrastructures, Ontologies			
		雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
		Engaging Science, Technology and Society	有	3	2017	224-234
⑤		著者名	論文標題			
		Jensen, Casper Bruun	The <i>Umwelten</i> of Infrastructure: A Stroll Along (and Inside) Phnom Penh's Sewage Pipes			
		雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
		Zinbun	無	47	2017	147-59
⑥		著者名	論文標題			
		Morita, Atsuro and Casper Bruun Jensen	Delta Ontologies: Infrastructural Transformations in Southeast Asia			
		雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
		Social Analysis	有	61(2)	2017	118-34
⑦		著者名	論文標題			
		Jensen, Casper Bruun and Atsuro Morita	Multiple Nature-Cultures, Diverse Anthropologies: Minor Traditions and Sophisticated Conjunctions			
		雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
		Social Analysis	有	61(2)	2017	1-15
⑧		著者名	論文標題			
		Morita, Atsuro	In between the Cosmos and “Thousand-Cubed Great Thousands Worlds”: Composition of Uncommon Worlds by Alexander von Humboldt and King Mongkut			
		雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
		Anthropologica	有	59(2)	2017	228-238

【学会発表】 計（6）件 うち招待講演 計（6）件

通番	発表者名	発表標題		
①	Jensen, Casper	A Flood of Models: Mekong Ecologies of Comparison and Disconnection		
	学会等名	発表年月日	発表場所	
	Workshop, Experimenting with Social Data	2017年9月14日・15日	SODAS, Copenhagen University	
②	発表者名	発表標題		
	Jensen, Casper	Wound-Up Worlds and <i>The Wind-Up Girl</i> : On the Anthropology of Climate Change and Climate Fiction		
	学会等名	発表年月日	発表場所	
AURA Workshop: Anthropology, Climate Change, and Climate Fiction	2017年9月18日	Department of anthropology, Århus University		
③	発表者名	発表標題		
	Jensen, Casper	Disciplinary Translations: Remarks on Latour in Literary Studies and Anthropology		
	学会等名	発表年月日	発表場所	
<i>Latour and the Humanities</i> conference	2017年9月21日~22日	University of Southern Denmark		
④	Jensen, Casper	A Flood of Models: Mekong Ecologies of Comparison and Disconnection		
	学会等名	発表年月日	発表場所	
	East Asian STM Fudan 2017	2017年6月17日	上海、復旦大学	
⑤	Morita, Atsuro	From Gravitational Machine to Universal Habitat: The Drainage Basin and Amphibious Futures in the Chao Phraya Delta, Thailand		
	学会等名	発表年月日	発表場所	
	East Asian STM Fudan 2017	2017年6月17日	上海、復旦大学	
⑥	Morita, Atsuro and Wakan a Suzuki	Politics of Adaptation and Capture		
	学会等名	発表年月日	発表場所	
	Wenner-Gren Symposium "Patchy Anthropocene: Frenzies and Afterlives of Violent Simplifications"	2017年9月8日~14日	Palacio Nacional de Sintra, Portugal	

【図書】 計 (0) 件

通番	共著の有無*	著者名		出版社	
		書名	発行年	総ページ数	
①					

*欧州各国研究代表者との共著がある場合は○、欧州各国研究代表者との共著であり論文内に事業名を明記している場合は◎と記入した上で、明記されている箇所（頁、巻頭、巻末等）を記入。

*足りない場合は適宜行を追加して下さい。

10. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

【出願】 計（ 0 ）件

通番	産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別
①						

【取得】 計（ 0 ）件

通番	産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
①						

11. 本事業に対する要望等